

# 協議会だより

DHA・EPA協議会

〒151-0062

東京都渋谷区元代々木町 32-7

一般財団法人日本水産油脂協会内

TEL &amp; FAX: 03-3469-6931

URL: <https://www.dhaepa.org/>E-mail: [dha\\_epa@par.odn.ne.jp](mailto:dha_epa@par.odn.ne.jp)

株式会社明治 中村 健太郎

去る5月24日に当DHA・EPA協議会の総会が開催されました。今年の総会では、役員の変更が行われ、体制が大きく変更となりました。昌子会長・武田副会長・江藤副会長が退任され、鷹谷会長・中楯副会長・豆田副会長へとバトンタッチいたしました。また幹事も、清水副幹事長・渡辺幹事から北村幹事・中村裕道幹事へと交代いたしました。長年に渡りご尽力いただいた役員の皆様には、この紙面をお借りして心より御礼申し上げます。

今年の総会講演会では、はじめに不二製油グループ本社株式会社の芦田茂先生より「サステナブルに貢献するプラントベースフード」の題でご講演いただきました。キーワードは「健康的で、持続可能な食事」。SDGs や地球環境への配慮といった課題は最近注目を集めています。これらに関連する身近な話題として異常気象のニュースを目にする機会が増えています。つい先日も、活発な梅雨前線と台風2号による大雨の影響で日本各地は多くの被害を受けました。また、今年は太平洋赤道域から南米沖までの海面水温が上昇するエルニーニョ現象が起きる可能性が高いことが言われており、平年以上に強い台風が増える可能性が考えられるそうです。他にも、世界の気温上昇によって干ばつが発生する、漁獲量が減少するといった懸念も挙げられています。地球環境を意識しつつ、世界中の人々が健康的な生活を送るためにどうすべきか、大きな課題を認識いたしました。

2題目の講演では、食の安全と安心を科学する会(SFSS)理事長の山崎毅先生より「機能性食品のリスクとベネフィットをどう考えるか」の題でご講演いただきました。キーワードは「食のリスクコミュニケーション: 安心=安全×信頼」。2015年に制度がスタートした機能性表示食品は現在、6000を超える食品が届出されており、様々な機能性表示食品に関するCMを日々目にします。消費者に安心を届けるために、機能性成分に関するリスクを評価・管理して、信頼性を担保しながらその情報を伝える必要がある点を改めて理解できました。

今回の講演を通じて、エビデンスが豊富で健康的な食事に貢献できる「DHA・EPA」、そしてDHA・EPAに関する様々な情報発信を担う「DHA・EPA協議会」が果たす役割は大きいと感じました。DHA・EPA協議会は今年度より新体制での活動となりますが、これからも持続的に発展させていければと思います。

## 《幹事会のうごき》

令和5年5月12日(金)に、本年度第2回幹事会を(一財)日本水産油脂協会新館第3会議室においてZoomを併用して開催した。

- ・第26回通常総会の開催に当たり、総会、講演会、懇親会の出席予定者数、見積金額が報告された。また、実施に関わる幹事の役割分担が示され了承された。

## 《2023年4月の魚油の輸入》

出典:財務省貿易統計

2023年4月			2023年1月~4月		
輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)	輸入量(トン)	金額(千円)	単価(千円/トン)
2,365	847,924	358.5	5,487	1,820,335	331.8

## 《魚油の国際価格》 (単位:US\$/トン)

出典:OIL WORLD

	2023年4月	2023年3月	2022年4月
Fish oil, any orig, cif N.W. Eur	4,350	4,070	2,975

## <情報>チリ・ペルーの漁獲量 (単位:トン)

出典:iffo

	2023年第21週	2023年第20週	2023年累計	2022年累計
チリ	27,139	36,534	1,044,759	939,289
ペルー	13	633	584,049	1,119,751

6月3日よりペルーでは中部以北のアンチョビー試験操業が解禁となり、漁獲枠は109万1千トン。